

## 第5回 夏期大学「新しい気象学」教室 開講のお知らせ

主催：日本気象学会  
東京都千代田区大手町1-3-4 気象庁内  
後援：東京都教育委員会  
東京都理科教育研究会  
日本地学教育学会  
協力：森重出版株式会社

昨年開催し好評を得ました「新しい気象学」を本年も同じ時期に開催します。この講座は新しい気象学の普及をめざし、主として小・中・高校の地学・理科担当教師を目標として行なうものですから、特に教職にある方の多数の御参加を希望いたします。

### 記

期 日	昭和46年7月29日(木)～8月4日(水) 午後5:30より
場 所	東京都千代田区大手町1の3の4 気象庁内 気象庁講堂 但し 台風来しゅう時には講堂の使用が不能になりますので、会場を他に 変更することもあります。なお冷房は完備しています。
対 象	小・中・高校の理科担当教師および気象愛好者を主体とし、その他学生お よび一般の希望者。
受 講 料	一般 2,600円 教員2,300円 気象学会員・日本地学会員2,000円 学生1,800円
申 込 先 および期日	東京都千代田区大手町1の3の4 気象庁内 日本気象学会事務局に 昭和46年7月25日までに申込みのこと。
申 込 方 法	下記の様式の申込用紙(縦13cm×横18cmの大きさ)に記入の上、受講料お よび必要な書類を添え、現金書留にて昭和46年7月25日まで事務局宛申込み のこと。参加決定次第、受講証を返送します。但し定員に達し次第締切 ります。
注 意 事 項	受講者には講義全内容の講義録を無料配布します。全講義終了後、受講者 には受講証を交付し、全講義出席者には日本気象学会入会の資格および入 会金の免除、学会出版物についての便宜をはかります。
講 義 録	地方在住者など本講義に出席できず、講義録のみ希望される方は学会事務 局あて必要部数を申込んで下さい。1部500円、送料別。申込みのあった 方に対しては、送料を加算し代金を請求し、事務局で代金受取次第、8月 月上旬に講義録を発送します。なお、昨年は刊行部数が少なく、希望者全員 におおけすることが出来ませんでしたので、今年は予約制をとりましたが、 希望者はできるだけ早めに申込んで下さい。申込み締切は7月25日。

## 第5回 夏期大学「新しい気象学」教室 講義日程表

講 義 日	時 間	講 義 演 題	講 師
1 日目 7月29日(木)	P. M. 5. 30 } 8. 40	地震予知 環境汚染	関 谷 博(気象庁) 河 村 武(気象庁)
2 日目 7月30日(金)	P. M. 5. 30 } 8. 40	天気予報の実際 長期予報	光 野 一(気象庁) 朝 倉 正(気象庁)
3 日目 7月31日(土)	A. M. P. M. 10. 00 } 1. 00 } 4. 10	気象庁見学(映画あり) 数値予報 台風的人工制御	植 村 八 郎(気象庁) 藤 原 美 幸(気 研)
4 日目 8月2日(月)	P. M. P. M. 1. 00 } 5. 30 } 8. 40	白鳳丸見学 航空気象 ロケットと高層気象	伊 藤 博(気 大) 清 水 逸 郎(気象庁)
5 日目 8月3日(火)	P. M. 5. 30 } 8. 40	実験気象学 海洋と気象	駒 林 誠(気 大) 前 田 総之助(東 大)
6 日目 8月4日(水)	P. M. 5. 30 } 8. 40	気象と民俗学 1970年代の気象	渡 辺 次 雄(理 大) 根 本 順 吉(気象庁)

注：講師の都合により講義の順序に多少の変更があるかもしれません。

5日目の実験気象学は、大変めずらしい実験（雨滴の半径，粒度分布，電場等の測定）を受講者の方々に実際にやっていただきます。当日は実験のための着衣を準備して下さい。

..... < 切 り 取 り 線 > .....

## 第5回 夏期大学「新しい気象学」教室 受講申込書

東京都千代田区大手町1の3の4 (〒100)

日本気象学会事務局 御中

第5回 夏期大学の受講を希望いたしますので，受講料を添えて申込みます。

昭和46年 月 日

氏 名 年 令 才 職 業

自 宅 住 所 電 ( )

勤 務 先 電 ( )

所 属 学 会

◎現職教師の方，日本気象学会員，日本地学会員，学生の方は簡単な証明書を添えて下さい。

◎申込期日は7月25日までですが，定員をオーバーした場合は申込みをお断りすることがあります。